

恭賀新年



杜都 (第25号)

発行

東北方面特科隊協定会・仙台OB会



東北方面特科隊長 一等陸佐 丸山 徳一

明けましておめでとうございます。東北方面特科隊協力会並びに東北方面特科隊OB会の皆様、隊員ご家族の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年三月、小職、澤崎前隊長の後を受け、第七代隊長として着任し、有為な隊員とともに第四地对艦ミサイル連隊訓練検閲(9月)、隊通信競技会(6月)及び隊小火器射撃競技会(11月)等を実行して、部隊・隊員の練度向上を図るとともに、日米方面隊指揮所演習(YSI85)への参加及び体制移行業務の推進について年間を通じて取り組み、多大な成果を獲得することが出来ました。これも偏に協力会、OB会、そして隊員御家族の皆様のお支援・御協力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

さて、益々厳しさを増す我が国を取り巻く安全保障環境において、陸上自衛隊総隊以来の大改革が実行の最中にあり、方面特科隊は来る三月に隊本部及び本中部隊の部隊廃止を迎えます。部隊の廃止は誠に残念ですが、特科隊で培った不屈の精神を胸に隊員一同それぞれの新たな場所で活躍することを誓っております。他方、八戸の第四地对艦ミサイル連隊は、その重要性から今後益々の発展が期待されております。残り僅かとなりますが、皆様の変わらぬ御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年の皆様のお活躍と御多幸を祈念申し上げます。新年の御挨拶と致します。



東北方面特科隊協定会 会長 小島 孝

明けましておめでとうございます。丸山隊長はじめ隊員の皆様、隊員ご家族の皆様、OB会並びに協力会の皆様には、穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年中は、協力会の活動も制限されておりますが、関係各位のご理解と、お力添えを頂き心より感謝申し上げます。日夜あらゆる訓練・業務に精励されており、隊員の皆様には心より敬意を表しますとともに、今後も国家・国民・ご家族の為任務に邁進されますようご祈念申し上げます。

本年も私共協力会は、皆様との交流を通じ、相互のご理解と信頼を深めるとともに、出来る限りのご支援ご協力を致したいと考えております。東北方面特科隊の更なるご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈りして新年のご挨拶といたします。



東北方面特科隊仙台OB会 会長 野口 俊彦

明けましておめでとうございます。特科隊の皆様、協力会並びに、OB会皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。日本を取り巻く安全保障環境議論は、ウクライナ・中東の紛争が勃発し、とても不安定な状況を呈しており、日本周辺諸国の動きも相まって、これ程クローズアップされるのは隔世の感があります。

さて、昭和二十九年第二特科群が編成され仙台駐屯地に移住し、駐屯地最古部隊として長い伝統と歴史のある方面特科隊がいよいよ廃止の時が迫ってまいりました。我々OB会も特科隊廃止をもって解散いたします。歴代の会長・役員の皆様のご尽力、会員皆様のご支援に感謝いたします。今後は、新組織を立ち上げOB会様の交流が出来るよう準備しておりますので、宜しくお願いたします。特科隊の皆様には、健康に留意しつつ廃止業務を完遂されますようご祈念申し上げます。

最後になりますが、OB会会員皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。



東北方面特科隊副隊長 一等陸佐 内野 敏紀

明けましておめでとうございます。協力会及びOB会の皆様には、令和六年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。昨年八月に東北方面特科隊の副隊長に着任し、初めての新年を迎えました。改めて身の引き締まる思いです。特科隊がこれまで歩みを進めて来られましたのも、ひとえに協力会及びOB会の皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。今年の干支は、甲辰です。皆様にとつて、昇り龍のように勢い良く活気溢れる年になりますよう祈念いたします。

本年は東北方面特科隊として変革の年となります。残り僅かとなりますが、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



第四地对艦ミサイル連隊長 一等陸佐 梶田 稜路

明けましておめでとうございます。昨年の八月に連隊長として着任し、約半年が経過しました。この間、コロナ禍もひと段落し各種訓練・行事等を通じて、以前と変わらない日常が戻りつつあることを日々実感しております。

防衛力整備計画において、陸上自衛隊は島嶼部における侵攻を洋上で阻止・排除するため、7個地对艦ミサイル連隊を保持することとしております。第4地对艦ミサイル連隊は、これまでの縮小改編から一転し、令和6年度末には3個射撃中隊の連隊へと増強改編する予定となりました。辰年は、陽の氣が動き、大きく成長し、形が整う年と言われております。連隊も大きく飛躍できるようにその態勢を着実に積み上げていく所存です。引き続き変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶



第四地对艦ミサイル連隊副連隊長
二等陸佐 生稲 学

明けましておめでとうございます。
旧年は、多くの皆様からのご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年は、連隊の新たな門出の年となりますが、引き続き任務完遂を第一義とし、強い部隊・隊員育成に邁進して参りますので、引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
皆様方にとつて輝かしい一年となりますことを祈念いたします。

最前任上級曹長
准陸尉 多田 茂

明けましておめでとうございます。
旧年は、皆様からの暖かいご支援・ご協力を賜り御礼申し上げます。本年も任務完遂に向け邁進する所存でございます。宜しくお願いたします。

本部管理中隊長
一等陸尉 加賀屋 重光

明けましておめでとうございます。
旧年は、皆様からの暖かいご支援・ご協力を賜り、御礼申し上げます。本年は体制移行に係る業務推進に貢献するほか、各種任務の完遂に向け邁進する所存であります。本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

第一中隊長
一等陸尉 戸來 貴

明けましておめでとうございます。
旧年中は、関係各位皆様方からのご支援・ご協力により各種任務に専念できたことにつきまして厚く御礼申し上げます。
本年も中隊一丸となり何事にも励んでいく所存であり、皆様方の変わらぬご理解・ご協力のほどよろしくお願申し上げます。

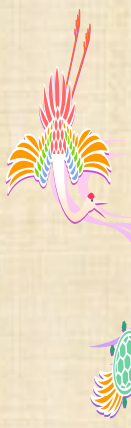
東北方面特科隊
最前任上級曹長 准陸尉 松森 良幸

明けましておめでとうございます。
協力会・OB会並びにご家族の皆様、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに平素からのご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。
本年も各部隊、最前任上級曹長及び先任上級曹長とともに連携し、歴代最前任が築かれた歴史と伝統を引き継ぎ効果的な指揮官補佐ができるよう任務必達の信念を持ち結びの年として努力いたします。
今後とも引き続きご指導、ご協力宜しくお願致します。

本部中隊長
三等陸佐 羽賀 龍也

明けましておめでとうございます。
旧年中は中隊への多大なるご高配を賜り御礼申し上げます。
中隊は三月をもちまして部隊廃止を迎えますが、その日を迎えるまで、いかなる状況においても任務を完遂できる本部中隊を目指しております。
短い期間ではありますが、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。
旧年中は中隊への多大なるご高配を賜り御礼申し上げます。
中隊は三月をもちまして部隊廃止を迎えますが、その日を迎えるまで、いかなる状況においても任務を完遂できる本部中隊を目指しております。
短い期間ではありますが、本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



年男

本部管理中隊 三曹 泉山 健太
明けましておめでとうございます。
年男としての今年の目標は、健康管理を維持しつつ、各種特技の取得を目指し、陸上自衛隊及び連隊に貢献していくことです。また、年男という節目を迎えるにあたり、これまでの自衛隊生活を支えていただいた皆様に感謝するとともに、残りの勤務を充実させるべく、「日々勉強」で邁進してまいります。

第一中隊 三曹 三上 勇弥
明けましておめでとうございます。
3年ぶりに連隊に戻り、八戸で年男を迎えることができ、大変嬉しく思います。これまでは、自分を中心とした考えで行動しており、自衛官としては半人前でしたが、今後は視野を広げ自分の経験から得た知識、技能を普及して一人前の自衛官になっていきたいです。

本部中隊 二曹 菊池 貴之
明けましておめでとうございます。
今年の抱負は「健康管理」です。ここ数年で体重は少しずつ増え、とどまる事がない状況になっています。食生活を見直し、適度な運動を心掛け健康維持増進に努めていきたいです。自衛官になれるよう頑張ります。

本部中隊 三曹 鈴木 章浩
三曹に昇任し勉強の毎日ですが、沢山の先輩、同期、先輩方の支えのお陰で陸曹として勤務できており感謝しております。辰年ということで竜のように向上心を持って前へ前へ勇往邁進していきたいと思っております。





新副隊長紹介

氏名

うちの としのり

内野 敏紀

出身地

福岡県みやま市

幹部部隊歴

H 27・3 ～ H 29・2

西部方面総監部人事部

H 30・3 ～ R 1・12

中部方面特科隊長

R 1・12 ～ R 3・7

九州補給処総務部

R 3・8 ～ R 5・7

大分地方協力本部長

新連隊長紹介

氏名

かじた じょうじ

梶田 穰路

出身地

愛知県豊明市

幹部部隊歴

H 29・3 ～ H 30・2

第112特科大隊長

H 30・3 ～ R 1・7

水陸機動団特科大隊長

R 2・8 ～ R 5・7

陸上幕僚監部防衛部防

衛課研究室研究Gp長

新二科長紹介

氏名

つかはら かずひさ

塚原 和寿

出身地

鹿児島県鹿児島市

幹部部隊歴

H 30・4 ～ R 3・2

南関東防衛局装備課

R 3・3 ～ R 5・2

第3特科連隊中隊長

R 5・3 ～ R 5・7

第3師団司令部総括幹部

方面記念行事

隊は、9月23・24日に仙台駐屯地で実施した東北方面隊創隊63周年記念行事に参加し記念式典、観閲式、装備品展示の支援に参加した。





第4地对艦ミサイル連隊

令和5年度隊通信競技会

第4地对艦ミサイル連隊は、令和5年6月26日(月)～29日(木)までの間、東北方面特科隊が実施した令和5年度隊通信競技会に参加した。本競技会は部隊ネットワークの組行動及び部隊暗号電信特技保有者の個人競技における通信構成にかかる技能、識能を向上させるとともに、部隊の団結並びに士気の高揚を目的として実施された。惜しくも優勝は逃したが、選手達は隊員個々の技能及び識能を更に向上させ、部隊の精強化に寄与した。

令和5年度第4地对艦ミサイル連隊訓練検閲

第4地对艦ミサイル連隊は、令和5年9月2日(土)～4日(月)までの間、八戸演習場において令和5年度第4地对艦ミサイル連隊訓練検閲を受閲した。連隊は、連隊長統率方針である「有事任務完遂を第一義とした行動」及び要望事項の「やるべきことをやる」を具現化するべく、連隊長を核として全隊員が一丸となって敵の脅威を排除しつつ健在し、与えられた対艦戦闘任務を無事に完遂した。



埋 設



架 設



電報送信



絡車交換



訓練検閲 任務完遂



アンテナ建柱



直接警戒



対艦戦闘



測量作業



本部中隊



救急法練成・検定



定年退官 陸曹候補生指定
令和5年7月27日 令和5年7月1日



阿部准尉



遠見 康
宮城県(山元町)
中隊の一員として貢献
できるよう頑張ります。

体力検定



格闘練成・検定



隊通信競技会



対空実射訓練



隊射撃競技会



第4地对艦ミサイル連隊訓練検閲

